

日独共同大学院プログラム 2012 春季・共同セミナー

日程：2012年3月9日（金）～13日（火）

会場：東京大学・駒場キャンパス 18号館4階コラボレーションルーム1

テーマ：市民と市民社会の変容

ポスト3.11の市民社会／歴史教育と市民／教養と市民／社会運動と市民社会

3月9日（金） コラボレーションルーム1

11:00-12:00 導入・自己紹介

【昼休み】

13:30-16:30 モジュールI：川喜田敦子（大阪大学）「歴史教育と市民」[独]

17:00-17:30 学生報告：

ダニエル・ヨアヒム「動乱の日常——日本における原発反対運動」[独]

3月10日（土） コラボレーションルーム1

10:30-12:00 学生報告：

今井宏昌「『政治の野蛮化』？：戦間期ドイツにおける内戦と暴力経験」[独]

石崎瑠璃子「ドイツ抒情詩人リヒャルト・デーメルを受容史」[独]

江黒史彦「声——現象学における意味形成作用の観点から——」[独]

【昼休み】

13:30-16:30 講演：七沢潔（NHK放送文化研究所主任研究員）

「福島第一原発事故と日本の市民社会——チェルノブイリ後のドイツとの比較を交えて」[日]

3月11日（日） 18号館ホール

13:30-17:30 国際シンポジウム「ポスト3.11の日独市民社会」

18:00- 懇談会〈生協コミュニティプラザ3階交流ラウンジ〉

3月12日（月）

9:30- 国会見学

【昼休み】

14:30-17:30 モジュールII：梶谷真司「教養と市民」[独] 場所：理想の教育棟3階301

3月13日(火)

コラボレーションルーム1

10:00-12:30 モジュール III : 井関正久 (中央大学) 「社会運動と市民社会」 [独]

【昼休み】

14:00-15:30 学生報告 :

菊地大悟 「平和と友好のためのドイツ・ポーランド協会の設立とその活動」 [独]

白鳥まや 「ガダマーとシュライアーマッハーの理解/翻訳論比較」 [独]

長沢優子 「オーストリア合邦にむけた同一化政策」 [独]

16:00-17:00 総括

※ 講演者、報告者名の後ろに [] に入っているのは使用言語です。

[独]ドイツ語 / [日] 日本語